

抗菌薬			
薬剤	作用機序	静菌的/殺菌的	毒性
アミノ酸配糖体	蛋白合成阻害	殺	尿細管障害・神経筋接合部障害・聴覚毒性
アミカシン			
ゲンタマイシン			
トブラマイシン			
ネオマイシン			
カルバペネム系	細胞壁合成阻害	殺	
イミペネム			
セファロsporin系	細胞壁合成阻害	殺	免疫介在性血球減少症
セファドキシシル(第一世代)			
セファレキシン(第一世代)			
セファゾリン(第一世代)			
セファロsporin(第一世代)			
セファキシチン(第二世代)			
セフォタキシム(第三世代)			
クロラムフェニコール	蛋白合成阻害	静	骨髄再生不良性貧血・薬物代謝阻害
マクロライド/リンコサイド	蛋白合成阻害	静	嘔吐や下痢・胆汁うっ滞
アジスロマイシン			
クリンダマイシン			
エリスロマイシン			
リンコマイシン			
タイロシン			
メロニダゾール	蛋白合成阻害	静	好中球減少症・中枢神経毒性
ペニシリン系	細胞壁合成阻害	殺	免疫介在性血球減少症
アモキシリリン			
アモキシシリン-クラブラン酸			
アンピシリン・ナトリウム			
オキサシリン			
ペニシリンG			
チカルシリン-クラブラン酸			
キノロン系	核酸合成阻害	殺	若齢、成長期子動物の軟骨形成不全・腎不全・発作の増強
シプロフロキサシン			
ジフロキサシン			
エンロフロキサシン			
マルボフロキサシン			
オルビフロキサシン			
スルホンアミド(サルファ合剤)	中間代謝阻害	殺	胆汁うっ滞あるいは急性肝臓壊死(まれ)・大赤血球性貧血・血小板減少・化膿性、非敗血症性多発性関節炎・乾性角結膜炎・腎性結晶尿
オルメプリム-スルファジメトキシ			
トリメプリム-スルホンアミド			
トリメプリム-スルファジアジン			
テトラサイクリン系	蛋白合成阻害	静	尿細管障害・胆汁うっ滞・発熱・薬物代謝阻害
ドキシサイクリン			食道炎/狭窄
ミノサイクリン			
その他			
デコキネート			
イミダカルブ			

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位						
	皮膚と軟部組織						
薬剤	ブドウ球菌性 膿皮症	グラム陰性菌 膿皮症	膿瘍	L 型菌	非定形 Mycobacteria	Nocardia	Actyno myces
アミノ酸配糖体					5		
アミカシン						5	
ゲンタマイシン							
トブラマイシン							
ネオマイシン							
カルバペネム系							
イミペネム						6	
セファロスポリン系							
セファドロキシル(第一世代)	1		2				
セファレキシン(第一世代)	1		2				
セファゾリン(第一世代)	1		2				
セファロスポリン(第一世代)	1		2				
セファキシチン(第二世代)			2				
セフトキシム(第三世代)							
クロラムフェニコール			5	3	2		4
マクロライド/リンコサイド							
アジスロマイシン							
クリンダマイシン	3		3				2
エリスロマイシン	3					4	3
リンコマイシン	3						
タイロシン							
メロニダゾール			4				
ペニシリン系			1			1(高用量)、 2+トリメトプリム-スファ ジアジン (ペニシリン耐性Nocardia)	1
アモキシシリン							
アモキシシリン-クラブラン酸	2						
アンピシリン・ナトリウム							
オキシシリン	2						
ペニシリンG							
チカルシリン-クラブラン酸							
キノロン系		1		2	3		
シプロフロキサシン							
ジフロキサシン							
エンロフロキサシン							
マルボフロキサシン							
オルビフロキサシン							
スルホンアミド(サルファ合剤)							
オルメトプリム-スルファジメトキシ トリメトプリム-スルホンアミド	4 (表在性膿皮症)						
トリメトプリム-スルファジアジン	4				4	2+ペニシリン (ペニシリン耐性Nocardia)	
テトラサイクリン系							
ドキシサイクリン				1	1		
ミノサイクリン					1	3	5
その他							
デコキネート							
イミドカルブ							

*犬猫で推奨抗菌薬

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位					
	心肺系感染症					
薬剤	敗血症・ 菌血症・ 細菌性 心内膜炎	上部気道	菌血症を伴う 細菌性肺炎	細菌性肺炎	膿胸	トキソプラズマ /ネオスポラ
アミノ酸配糖体	2+ペニシリン 2+アンピシリン 2+アモキシシリン 2+クリンダマイシン 2+第一世代セファロスポリン					
アミカシン						
ゲンタマイシン						
トブラマイシン						
ネオマイシン						
カルバペネム系						
イミペネム	4		2			
セファロスポリン系						
セファドロキシル(第一世代)	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	2	1+エンロフロキサシン	3	5	
セファレキシン(第一世代)	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	2	1+エンロフロキサシン	3	5	
セファゾリン(第一世代)	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	2	1+エンロフロキサシン	3	5	
セファロスポリン(第一世代)	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	2	1+エンロフロキサシン	3	5	
セファキシチン(第二世代)	3					
セフトキシム(第三世代)	3					
クロラムフェニコール		6		4	4	
マクロライド/リンコサイド						
アジスロマイシン						
クリンダマイシン	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	4	1+エンロフロキサシン		2	1
エリスロマイシン						
リンコマイシン						
タイロシン						
メロニダゾール			1+エンロフロキサシン		3	
ペニシリン系			1+エンロフロキサシン		1	
アモキシシリン	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド	1	1+エンロフロキサシン			
アモキシシリン-クラブラン酸		1		1		
アンピシリン・ナトリウム	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド		1+エンロフロキサシン			
オキサシリン						
ペニシリンG	1+エンロフロキサシン 2+アミノグリコシド					
チカルシリン-クラブラン酸	5					
キノロン系						
シプロフロキサシン						
ジフロキサシン						
エンロフロキサシン	1+ペニシリン 1+アンピシリン 1+クリンダマイシン 1+第一世代セファロスポリン	7	1+ペニシリン 1+アンピシリン 1+アモキシシリン 1+クリンダマイシン 1+メロニダゾール 1+第一世代セファロスポリン			
マルボフロキサシン						
オルビフロキサシン						
スルホンアミド(サルファ合剤)		3		2		2
オルメプリム-スルファジメトキシ						
トリメプリム-スルホンアミド						
トリメプリム-スルファジアジン						
テトラサイクリン系						
ドキシサイクリン		5				
ミノサイクリン						
その他						
デコキネート						
イミドカルブ						

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位					
	肝臓と消化器感染症					
薬剤	細菌性胆管肝炎	細菌の異常増殖	Campyrobacter spp.	Clostridium perfringens	肝性脳症	salmonella spp.
アミノ酸配糖体						4
アミカシン						
ゲンタマイシン						
トブラマイシン						
ネオマイシン					1	
カルバペネム系						
イミペネム						
セファロスポリン系						
セファドロキシル(第一世代)	2					
セファレキシン(第一世代)	2					
セファゾリン(第一世代)	2					
セファロスポリン(第一世代)	2					
セファキシチン(第二世代)						
セフォタキシム(第三世代)						
クロラムフェニコール	3					5
マクロライド/リンコサイド						
アジスロマイシン						
クリンダマイシン						
エリスロマイシン						
リンコマイシン						
タイロシン		3	2	2		
メロニダゾール	4	4	3	3	3	
ペニシリン系		1	1	1		
アモキシシリン	1					3
アモキシシリン-クラブラン酸						
アンピシリン・ナトリウム					2	
オキサシリン						
ペニシリンG						
チカルシリン-クラブラン酸						
キノロン系	5					1
シプロフロキサシン						
ジフロキサシン						
エンロフロキサシン						
マルボフロキサシン						
オルビフロキサシン						
スルホンアミド(サルファ合剤)						
オルメプリム-スルファジメキシム						
トリメプリム-スルホンアミド						
トリメプリム-スルファジアジン						2
テトラサイクリン系		2	4	4		
ドキシサイクリン						
ミノサイクリン						
その他						
デコキネート						
イミドカルブ						

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位						
	中枢神経系			骨格筋系			
薬剤	脳炎	中耳炎 内耳炎	トキノ プラズマ ネオスポラ	椎間板 脊椎炎	ヘパトゾーン症	骨髄炎	トキノ プラズマ ネオスポラ
アミノ酸配糖体							
アミカシン							
ゲンタマイシン							
トブラマイシン							
ネオマイシン							
カルバペネム系							
イミペネム							
セファロsporin系							
セファロキシル(第一世代)		4		1		3	
セファレキシン(第一世代)		4		1		3	
セファゾリン(第一世代)		4		1		3	
セファロsporin(第一世代)		4		1		3	
セファキシチン(第二世代)							
セフォタキシム(第三世代)							
クロラムフェニコール	1	2		4		4	
マクロライド/リンコサイド							
アジスロマイシン							
クリンダマイシン		3	1	3	1 急性:トリメトプリム スルファジアジン、ピ リメタミンの併用	2	1
エリスロマイシン							
リンコマイシン							
タイロシン							
メロニダゾール							
ペニシリン系							
アモキシシリン	2	1					
アモキシシリン-クラブラン酸		1		2		1	
アンピシリン・ナトリウム							
オキサシリン							
ペニシリンG							
チカルシリン-クラブラン酸							
キノロン系	4	5		5		5	
シプロフロキサシン							
ジフロキサシン							
エンロフロキサシン							
マルボフロキサシン							
オルビフロキサシン							
スルホンアミド(サルファ合剤)							
オルメトプリム-スルファジメトキシ	3						
トリメトプリム-スルホンアミド							
トリメトプリム-スルファジアジン	3		2		1 急性:クリンダマイシ ン、ピリメタミンの併用		2
テトラサイクリン系							
ドキシサイクリン							
ミノサイクリン							
その他							
デコキネート					2慢性		
イミドカルブ							

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位				
	多発性筋炎				
薬剤	細菌性	B.burgdorferi	Ehlichia spp.	L型菌 または Mycoplasma	ロッキー山 紅斑熱
アミノ酸配糖体					
アミカシン					
ゲンタマイシン					
トブラマイシン					
ネオマイシン					
カルバペネム系					
イミペネム					
セファロスポリン系					
セファドロキシル(第一世代)	1				
セファレキシン(第一世代)	1				
セファゾリン(第一世代)	1				
セファロスポリン(第一世代)	1				
セファキシチン(第二世代)					
セフォタキシム(第三世代)					
クロラムフェニコール			2	3	3
マクロライド/リンコサイド					
アジスロマイシン					
クリンダマイシン					
エリスロマイシン					
リンコマイシン					
タイロシン					
メトロニダゾール					
ペニシリン系					
アモキシシリン		2			
アモキシシリン-クラブラン酸					
アンピシリン・ナトリウム					
オキサシリン					
ペニシリンG					
チカルシリン-クラブラン酸					
キノロン系	2			2	
シプロフロキサシン					
ジフロキサシン					
エンロフロキサシン					2
マルボフロキサシン					
オルビフロキサシン					
スルホンアミド(サルファ合剤)					
オルメプリム-スルファジメキシム					
トリメプリム-スルホンアミド					
トリメプリム-スルファジアジン					
テトラサイクリン系					
ドキシサイクリン		1	1	1	1
ミノサイクリン					
その他					
デコキネート					
イミドカルブ			3		

*犬猫で推奨抗菌薬

抗菌薬	数字は抗生物質の使用優先順位						
	尿路感染症						
薬剤	嫌気性 尿路 感染症	Burucella canis	Leptospira spp.	乳腺炎	Mycoplasma Ureaplasma	前立腺炎	子宮 蓄膿症
アミノ酸配糖体							
アミカシン							
ゲンタマイシン							
トブラマイシン							
ネオマイシン							
カルバペネム系							
イミペネム							
セファロスポリン系							
セファドロキシル(第一世代)	2			1			
セファレキシン(第一世代)	2			1			
セファゾリン(第一世代)	2			1			
セファロスポリン(第一世代)	2			1			
セファキシチン(第二世代)							
セフォタキシム(第三世代)							
クロラムフェニコール					2	3	2
マクロライド/リンコサイド							
アジスロマイシン							
クリンダマイシン						5	
エリスロマイシン						4	
リンコマイシン							
タイロシン							
メロニダゾール							
ペニシリン系							
アモキシシリン	1		慢性期(経口)	2			1
アモキシシリン-クラブラン酸	1			2			4
アンピシリン・ナトリウム			1急性期 IV				
オキサシリン							
ペニシリンG			1急性期 IV				
チカルシリン-クラブラン酸							
キノロン系	4	1 ドキシサイクリンと交互 1 ミノサイクリンと交互			3	2	1
シプロフロキサシン							
ジフロキサシン							
エンロフロキサシン							
マルボフロキサシン							
オルビフロキサシン							
スルホンアミド(サルファ合剤)	3					1	3
オルメプリム-スルファジメキシム							
トリメプリム-スルホンアミド							
トリメプリム-スルファジアジン							
テトラサイクリン系							
ドキシサイクリン		1+キノロンと交互	2腎臓キャリアの清浄化		1		
ミノサイクリン		1+キノロンと交互					
その他							
デコキネート							
イミダカルブ							